施策分析シート(平成20年度)

No₁

ĺ	施策名	国内・海外都市との交流の推進 施策No 09-02 部課名 区民生活部文化交流推進課							
ı	nex u	国内・海外部市との文派の推進 <mark> 地東NO</mark> 09-02 <mark>課長名 石澤宏 内線</mark> 2 5 2 0							
	関連部課名								
ı	行政評価	分野 文化創造都市[]							
ı									
	事業体系	政策 伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]							

<mark>目</mark> 活力に満ち魅力ある地域社会を実現するため、国内・海外都市との幅広い交流を積極的に推進す 的 る。

		指標の推移					
	施策の成果とする指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (28年度)	指標に関する説明
指	交流都市に対する区民の 認知度					50%	イベント等の機会を利用し、 調査を行う。
	交流事業に対する区民の 認知度					50%	同上
標	交流都市・他都市への区 民の訪問状況	33,591	33,496	36,188		40,000	交流都市まつり、バスツ アー、施設利用、合宿、青少 年事業等の参加者数
	国際交流協会会員数	447	406	452		900	賛助会員数 + 協力会員数

現在、国内18都市、海外4都市との交流があるが、その度合、態様には差がある。各都市の特性を把握し相互補完的な交流をすることにより、荒川区にはない文化や自然環境を区民に提供し、より豊かな区民生活の実現を目指す。

区民や区民団体主体の持続的な草の根交流への展開が必要である。

交流都市を区内のスポーツ文化等各種団体の活動の場として活用し、団体の活性化と各都市との 交流促進という二つの目的の実現を目指す。

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

今

後

の

方

向

交流都市や交流事業について、今後区民の認知度の的確な現状把握に努めるとともに、ホームページの充実や交流事業等を通じて周知を図っていく。

交流都市への区民の訪問について、区内の各種団体において国内外の交流都市との継続的交流事業が実施できるよう支援体制を整備し、相互の交流を活性化する。

国際交流協会について、ホームページを充実させるなどその事業を区民に周知徹底するとともに、外国人支援等事業の充実など事業を充実させるよう支援を強化し、会員の増加につなげる。

施策の	の分類					
前年度設定	今年度設定	ガ類にプロでの説明・思見寺				
重点的に推進	重点的に推進	区民の国際理解推進のために欠かせない施策であるとともに、地域 住民の生活環境の相互補完や文化の振興という観点からも、重要な 役割を担っている。				

						NO2		
施策を構成する事務事業の分類								
	事務事業 No	決算額(千円)		施策推進のため の分類				
事務事業名		18年度	19年度		<u>今</u> 年度 設定	分類についての説明・意見等 		
国内都市交流事業	03-02-02	528	491		重点的	交流資源を掘り下げ、区民主体 の事業を展開する。		
国際交流協会補助	03-02-03	9,530	4,382	重点的 に推進	重点的	区民主体の国際交流の推進母体 として支援が必要である。		
海外都市交流事業	03-02-04	18,399	10,279	重点的 に推進		国際理解、文化振興のため大き く貢献する事業である。		
国際交流高校生サミット	03-02-05	-	15,606	推進	見直し	交流事業の活性化につながる事 業として実施した。(周年事 業)		
荒川区・小野町交流事業	03-02-10	-	373	推進	見直し	20年度より「国内都市交流事 業」に統合。		
あらかわキャラバン事業	03-02-11	-	-	-	推進	芸術文化面で区を代表する個 人・団体を交流都市に派遣し、 交流促進とともに芸術文化振興 を図る。		
合 計	28,457	31,131						